

○こんにちは赤ちゃん事業において、訪問の同意が得られなかった家庭には、特に留意しながら、全家庭を訪問できるよう努めていただきたい。



○こども医療費について、ジェネリック医薬品の利用率向上に向けて啓発していただきたい。

○こども医療費や保育料の無料化など、継続して行う福祉政策は、臨時的な財源ではなく、一般財源により執行していくべきである。

環境

問 河川環境の維持管理について。



答 地域の財産を地域で守っていただくために、アドプト制度や補助金で支援しながら全体的な環境整備を進めたいと考えています。

○作業できる住民の数が減り困っている自治会の状況を理解して、対策を講じていただきたい。

問 粗大ごみ拠点回収の検証について。

答 モデル地区では、木質タンスや布団などが大量に出され、直営の職員だけでは回収しきれなくなっているため、今後は委託に切り替えることになると考えています。



問 不法投棄の防止について。

答 不法投棄防止活動推進員が、県からカメラを無償で借り受けて監視しています。また、市も同様にカメラの貸し出しと、要望に応じた防止看板の配布を行っています。

○「不法投棄を止めよう」と思わせるくらいの効果的な看板を制作し、防止に努めていただきたい。

教育

問 小中連携教育の取り組みについて。



答 ①中1ギャップの解消②学力向上③教職員の指導力向上を3つの柱として取り組んでいます。中1ギャップの解消に向けては、中学校区ごとに取り組んでおり、担当が相互に情報共有しながら進めることで成果が出てきているところです。

○塾に行けない子供たちを土曜日授業でカバーする。そして、学力全国一や体力全国一などを目指すような、個性ある加西市の教育を実施していただきたい。

○施設統廃合の検討は、保育料軽減の引き換え条件とするのではなく、地域に必要な園のあり方について純粋に検討していただきたい。



国民健康保険特別会計

○優良世帯表彰は、医療機関を受診しなかったことではなく、疾病予防や重症化予防の観点から、「健診を受けて健康であった」という部分を評価する方がよい。



介護保険特別会計

問 特別養護老人ホームの待機状況について。



答 平成27年度から特養の入所基準が原則要介護3以上となり、平成27年6月の待機状況調査では、前年度の27名から14名と減少しましたが、高齢化の影響により、平成28年には増加に転じて18名となっています。

公園墓地整備事業特別会計

○小さな墓地区画のニーズが高まっている。引き続き民間の動向を注視していただきたい。



水道事業会計

問 平成26年度の赤字決算から、黒字に転じるまでに収益が改善した理由について。

答 水需要の増加と、平成27年1月からの契約変更により市川町からの受水費が下がったためです。

下水道事業会計

問 水洗化促進補助金の成果について。

答 高齢者世帯17件、障がい者世帯7件、小学生以下の第3子がいる世帯4件、それ以外の一般世帯44件の計72件で交付決定し、水洗化がこれまで以上に進んでいます。

病院事業会計

問 平成27年8月に開設した、地域包括ケア病棟について。

答 病床利用率は8割弱となっており、その利用者は急性期病床からの転棟患者がほとんどです。他院の急性期治療終了後にもう少し療養の必要な患者も受け入れています。



問 病院の耐震化について。

答 病院本館の耐震診断結果を受け、建て替えも含めて市と協議しながら前向きに取り組む必要があると考えています。